

寺田校長の広聴・高調コミュニティ広場

夏休み中、いずみ保育所で保護者講演会を行ってきました。講演をするのは、人生初めてのことでしたので、ドキドキしながらのスタートでした。

演題は、『遊び』は『学び』か？、副題として「子供の成長に大切なのは、デジタル体験？リアルな体験？」を掲げ、話しました。

今や家庭でも、デジタル体験(インターネットや SNS、動画など)なしでは生活が成り立なくなっています。一方で、リアルな体験(自然体験や親子のふれあい、読み語り、お手伝いなど)の必要については、皆さんご存じの通りです。そのような中、両方の体験と上手にお付き合いしながら、リアルな体験を通して感性を刺激したり大人に共感してもらったりすることで心身が健全に育つことをお話しました。また、保護者のかかわりとして三つの例(ふれあい遊び・読書・お手伝い)を挙げ、それぞれの遊びが就学前の子供に付けておきたい力(感じる・気付く力、うごく力、考える力、やりぬく力、人とかかわる力)を付けることにつながることを、そして、その力は小学校へ入学してから役に立つ力であることも付け加えました。最後は、子育ては家庭が中心となるが、保育所や学校、地域とともに力を合わせることの大切さを伝え、私の生まれて初めての講演会は、無事終わりました。

今回の講演は、私が一方的に話すのではなく、話題について近くの人と対話をしたり、一緒にふれあい遊びを体験したりと、工夫を加えました。保護者の皆さんが楽しく学んでいたように、保育所の先生方にもご協力をいただきました。特に、保育所の先生方にしていただいたふれあい遊び歌「きゅうりができた」、わらべ歌「ちゃちゃつぽちゃつぽ」など、手を取り、体を使い、和気あいあいの雰囲気の中で楽しく学ぶ姿は、大変ほほえましく感じました。きっとより良い子育てにつながると確信しました。

いずみ保育所長からの依頼で始まった講演にまつわる一連の準備や実践は、私にとってかけがえのない時間となりました。

★広島県教育委員会 HP 内「親子コミひろしまネット」をご参照ください。

神石高原町立いずみ保育所保護者講演会

「遊び」は「学び」か？

子供の成長に大切なのは、デジタル体験？リアルな体験？

令和 8 年 8 月 25 日
神石高原町立神石小学校
校長 寺田 知巳